# 平成28年度第２回西脇市立西脇病院経営評価委員会　会議録

日　時　平成29年２月27日（月）
午後１時30分～２時45分
場　所　西脇病院　２階　講堂

１　開　会

経営管理課長：ただ今から平成28年度第２回西脇病院経営評価委員会を開会させていただきます。本日は大変お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

事前に送付させていただきました資料の他、本日の資料といたしまして、第２回西脇市立西脇病院経営評価委員会次第、出席者名簿、配席図、職員満足度アンケート実施状況（別紙）、平成28年度１月経営状況資料、西脇市立西脇病院事業会計に対する意見書を配布しております。平成28年度１月経営状況資料につきましては、第１回経営評価委員会において、平均在院日数等の入院診療の状況や、科別売上等の・データの提示依頼がございましたので、毎月、企画会議等で分析しております資料を配布しております。また、西脇市立西脇病院事業会計に対する意見書につきましては、遠藤会計事務所の税理士、遠藤康夫様に専門家の立場から財務諸表を御確認いただいた意見書を配布しております。

それでは、会議に先立ちまして、病院長の岩井から挨拶を申し上げます。院長よろしくお願いいたします。

２　病院長あいさつ

岩井病院長：（あいさつ）

３　議　事

具委員長：それでは、資料１「平成28年度西脇市立西脇病院の改革プランの推進状況」について事務局から説明をお願いします。

事務局長：（資料１を説明）

具委員長：ありがとうございました。平成28年度改革プランの進捗状況の説明でした。委員からの御意見、御質問をお受けしたいと思います。

梶井委員：昨年度より、病床稼働率は向上し、当年度純損益についても大きく好転しているのは、素晴らしい結果だと思います。外来患者数は減っていますが、その分、病床稼働率が上がっているので、入院中心にシフトしてきた結果だと思われます。検査件数が減少した理由は、地域包括ケア病棟が稼働し始めたためとありましたが、その判断でよろしいでしょうか。

岩井委員：地域包括ケア病棟では、慢性になり、退院待ちとなる患者が中心となります。手術前検査は、出来るだけ外来で実施するようにしていますが、約50床地域包括ケア病棟とすると、あまり頻繁に検査をしなくても良い患者が増えているのは、確かです。

梶井委員：ありがとうございました。

藤田委員：外来が減少してきているのは、仕方がないですね。その分、医師会（開業医）が担っているのかもしれません。

健診についてですが、妊婦健診は増加しているのに、乳児・新生児健診は、減少しています。将来的にはどうなっていくのでしょうか。医師が不足しているのであれば、改善が必要ではないかと思います。

富永委員：外来、入院共に努力され、頑張っておられると感じました。

スタッフの人材育成の一環として、多種にわたり研修を実施され、より安心した病院づくりをされていると思いました。働きやすい環境づくりとして、院内保育所がありますが、どれくらいの利用者がありますか。また、利用されているお子さんの年齢を教えていただきたいです。

病院総務課長：院内保育所（あおぞら保育園）の定員は25名です。

現在は、年度内で多少増減しますが、０歳～３歳児で約20名の利用があります。

具委員長：ありがとうございました。他にありませんか。
総収益において、約２億も改善されています。これは、地域包括ケア病棟の導入がタイムリーで、病床稼働率も86.7％と改善されていることが要因でしょうか。

岩井委員：地域包括ケア病棟は、11月に開設しました。通年、冬になると患者が増加する傾向です。急性期のベッドから、地域包括ケア病棟のベッドへ移っていただくタイミング等が合いました。
また、ＩＣＵ・ＨＣＵの運営等を整備し、ＨＣＵ加算を取得したこと等が改善に繋がったと考えられます。

具委員長：今の病床配置（配分）が西脇病院にとって、よりマッチした形に近づいたように思います。地域包括ケア病棟は、11月から開設されていますので、実績がまだ確立していないように思います。収益の改善については、他の要因はありますか。

岩井委員：参考資料として、平成28年度１月の経営状況資料を配布しています。確かに地域包括ケア病棟開設後の影響は大きいですが、病床稼働率については、全般的に毎月、前年度より稼働しています。

具委員長：他に意見等は、ありませんか。

具委員長：職員給与費率、人件費の割合が、一般的に市中病院だと５割をきるのが目標だと言われていますが、公的病院は、全般に高いように思います。それでも若干減少していますね。説明は、出来るのでしょうか。

岩井委員：職員給与費率につきましては、支出が増加というよりも、収益が増加したことによるものです。

具委員長：分かりました。他にいかがでしょうか。収益が約２億円

も改善したことは、医療費の縮減が行われている中で、かなり注目すべき成果だと思います。

具委員長：次に資料２「西脇病院経営基本計画」について、説明をお願います。

事務局長：（資料２を説明）

具委員長：ありがとうございました。委員の方々から、御意見等はございませんでしょうか。特段の意見は、ないようですので基本計画に沿って、進めてください。

具委員長：それでは続きまして、資料３「西脇病院経営基本計画―実施計画―」について、事務局から説明をお願いします。

事務局長：（資料３を説明）

具委員長：ありがとうございました。それでは、資料３について、御意見、御質問をお受けしたいと思います。

梶井委員：各取組みについてですが、具体的な取組内容を記載した方が目標も立てやすく、評価もしやすいと思います。数値目標を出す時は、何を参考に数値目標を立てておられるのかをお聞きしたいと思いました。

事務局長：取組内容についてですが、年度毎に具体的な内容を精査し、記載していきます。数値目標については、各担当部署が記載しています。　事務局から統一したものを示していないので、きちんとした枠組みを提示しながら精査し、記載していきます。

岩井委員：例えば、脳卒中治療に係る専門医の育成については、大学との関係にもよりますが、血管内治療の研修をする医師を２年で１名程度増員できればと思っています。検査件数については、北播磨圏域において、人口は減少傾向ではありますが、年齢的には、高齢者率が増加しているように思います。これから５年間は、

救急の患者を含めて、比較的多数の患者数が見込めると思っています。これが、いつまでも続くとは思えませんが、今の状況では、件数そのものが大きく変動しないように思います。

具委員長：平成30年に診療報酬が改定されます。短期的な見通しと、長期的な見通しが必要です。この基本計画は、比較的短期計画として位置づけられるように思います。人口動態を考慮しながら、国の保険診療に対する方向性等についても、院内で確実に方向性を見極められるような仕組みづくりをされたらと思います。取組内容について、病院執行部が、戦略的な趣旨をしっかりと各部署に伝えて、各部門で実施可能かつ目標とすべき内容を精査されてはいかがかと思います。

藤田委員：医師確保についてですが、何科を重点的に努力されるのか教えていただきたい。例えば、１ヶ月検診を行うと、耳が聞こえにくい症例がありますが、診てもらえるところがありません。西脇病院では、耳鼻いんこう科の常勤医師がいらっしゃらない。北播磨総合医療センターでは、断られています。神戸、加古川等の遠方の病院に行かざるをえない状況です。医師の確保については、診療科に重点をおいて計画していただきたい。

また、職員採用時にどのような感染症対策をされているのか、ワクチン接種等を確認されているのか等の対策を教えていただきたい。

病院総務課長：感染症の予防についてですが、公費負担で、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、Ｂ型肝炎等について、抗体検査を実施、陰性者には、ワクチン接種を行っています。

岩井委員：医師確保についてですが、とても大切であると認識しています。大学の関連病院として、大学へ招聘依頼をしています。診療科によっては、大学を超えて、派遣業者等も利用しながら、医師の確保に努めています。大学は、合併をしていく大規模病院に対して力が入り、派遣されているように感じます。その中で、地域病院についてもお願いしているところです。今後、兵庫県の養成医枠が増加していく傾向にあります。研修医を育成し、教育

（研修）についても大学等にアピールしていきたいと思っています。そして、戦力的な医師の確保に繋げていきたいと思っています。

富永委員：地域医療を守る活動の支援についてですが、病院フェスタは、継続的に開催され、開かれた病院づくりをされています。

ボランティアの受入については、縫製ボランティア以外では、どのような活動をされているのでしょうか。また、どのように募集をされているのかを教えていただきたい。ボランティアの数が増加すれば、地域から親しみを持たれる病院として浸透するイメージもありますので、ボランティアの状況を教えていただきたい。

経営管理課長：現在、主に縫製ボランティアが活動されていますが、植栽ボランティアの方々に正面玄関前の花壇等の手入れをしていただいています。入院案内等もしていただきたいところですが、そこまで至っていません。また、西脇小児医療を守る会の皆様に入院棟３階の新生児室前の壁に装飾をしていただいています。募集方法については、広報誌等で案内をしています。

具委員長：全体を通して、委員から意見等はございませんか。

梶井委員：地域医療支援病院を担っていらっしゃいますが、地域の医療機関の医療従事者を対象とした研修は、されていますか。

岩井委員：北播磨圏域において、医師会と合同で、症例検討会等を実施しています。

看護局次長：地域看護教育研修センターとして、地域の看護職、介護職を対象に、月に２回程度無料で研修を実施しています。地域看護教育研修センターを開設して、今年で４年目になります。

梶井委員：ありがとうございました。研修の行為も記載されると、すごく広がりが見えると思います。近年、認知症患者が増加しています。認知症患者の介護等も踏まえて、「認知症」について、どのような対策（研修）をされていますか。

岩井委員：兵庫県より指定を受けて、平成26年８月に認知症疾患医療センターを開設しました。院内におきましても、全職員を対象に教育を行っています。西脇市、医師会と共同で研修会等を実施しているところです。

看護局次長：医師も積極的に研修に参加されています。全看護職員を対象に認知症に関する研修会を実施しました。マニュアルの作成、計画書の整備を行い、認知症の方に対応できるための準備を進めているところです。

梶井委員：ありがとうございました。院内研修が充実していることがよく分かりました。

具委員長：院内外における医療従事者を対象とした研修を充実させ、病院のリーダーシップを示していただくことが重要だと思います。他にありませんか。

具委員長：最後に収支状況について、質問させていただきます。資料１の４ページには、12月末の実績を示されていますが、平成28年度の決算見込みは、どのような見通しをされていますか。

経営管理課長：平成28年度の決算見込みは、現在、補正予算書を調整しているところです。平成27年度は6,500万円の赤字でしたが、平成28年度はわずかではありますが、 180万円の黒字を見込んでいます。

具委員長：赤字から黒字へ転換されるという理解でよろしいでしょうか。12月累計では、２億円の増収となっていますが、それほどには、黒字が見込めないのですね。

経営管理課長：昨年度との大きな違いについてですが、昨年に電子カルテを更新したことにより、今年度より、電子カルテの減価償却費が、約１億円発生します。この電子カルテの減価償却費がなければ、約１億円の黒字になるかと思われます。

具委員長：ありがとうございます。電子カルテの影響があるにも関わらず、黒字に転換された、ということですね。より一層経営努力を重ねられ、持続可能な医療を目指してください。また、黒字を維持し、どういうふうに病院として活かしていくか、という視点を次回ご検討いただけたらと思います。

具委員長：他に意見等はございますか。なければ、これで議事を終了させていただきます。

3　閉　会

経営管理課長：具委員長ありがとうございました。本日の第２回委員会におきまして、委員の皆様には貴重な御意見、御指導をいただき、ありがとうございました。

本日のご指導を踏まえながら、経営基本計画をもとに、実施計画を推進してまいります。

経営の健全化、安定した経営の実現に向け、努力してまいります。

以上、委員におかれましては、今後とも御指導、御助言のほどよろしくお願い申し上げ、平成28年度第２回経営評価委員会を閉会させていただきます。

本日は、誠に、ありがとうございました。

◎　出席委員（５名）

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 具　英成 | 甲南病院長 |
| 委　員 | 梶井　英治 | 自治医科大学地域医療学教授 |
| 委　員 | 藤田　位 | 西脇市多可郡医師会長 |
| 委　員 | 富永なおみ | 西脇小児医療を守る会代表 |
| 委　員 | 岩井　正秀 | 西脇市立西脇病院長 |

○　出席職員

| | |
|---|---|
| 山口　俊昌 | 副院長 |
| 小出　亮 | 副院長 |
| 長井　健 | 事務局長 |
| 岸本　敦子 | 看護局次長 |

| | |
|---|---|
| 森田　　隆 | 薬剤部長 |
| 杉田　哲也 | 検査部長 |
| 神戸　　誠 | 放射線部長 |
| 嶋尾　秀昭 | リハビリテーション部長 |
| 岸本　雅彦 | 病院総務課長 |
| 宇野　憲一 | 医事課長 |
| 藤井　敬也 | 経営管理課長 |

| | |
|---|---|
| 吉野千恵子 | 経営管理課主査 |
| 衣笠　千穂 | 経営管理課主任 |
| 西村　敦史 | 経営管理課主任 |